

- ☐ 新しい視点から歴史を学びたい！
- ☐ 最新の研究が知りたい！
- ☐ **大学の教室**で学んでみたい！

1つでも当てはまったあなた  
にオススメの講座です！

**受講無料**

# 「言語」から読みとく 歴史世界

第1回  
**1/24(土)**  
10:30~12:00

テーマ

日本にも生き残った**ラテン語**  
ー日本におけるラテン語の受容史ー

講師：高橋裕史 先生  
(帝京大学総合博物館 館長・経済学部経営学科 教授)



第2回  
**2/14(土)**  
10:30~12:00

テーマ

**ロシア語**と外来語  
ー外来語が語るロシアの現代ー

講師：杉浦史和 先生  
(帝京大学経済学部国際経済学科長)

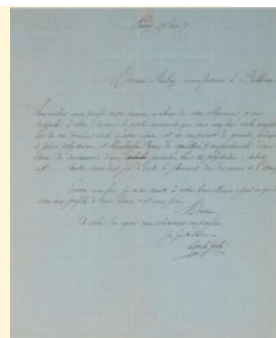


第3回  
**2/28(土)**  
10:30~12:00

テーマ

**ミミズ文字？**の解読  
ー19世紀**フランス語**の  
手紙から読み解く世界ー

講師：鵜飼敦子 先生  
(帝京大学外国語学部外国語学科 准教授)



1回のみの受講や回をまたがっての受講も可能です。お気軽にご参加ください。

会場：帝京大学八王子キャンパス ソラティオスクエア地下1階S011教室  
定員：各回200名(先着順)  
申込み方法：ホームページ、QRコード、電話、FAX  
締切日：各講座開催の前日まで受付  
主催：帝京大学総合博物館

お問い合わせ TEL:042-678-3675 FAX:042-690-8231  
ホームページ <https://teikyo.jp/museum/>

帝京大学総合博物館 **TUM**  
Teikyo University Museum



お申込はこちら

# 「言語」から読みとく歴史世界 セミナー概要

帝京大学総合博物館は、ミュージアムセミナーとして、特定のテーマを設定し、それにまつわる歴史を探访する講座を開催しています。今年度のテーマは“「言語」から読みとく歴史世界”です。歴史の「語り部」として言語が果たしてきた役割には非常に大きなものがあります。また歴史を「記す」言語もギリシア語やラテン語、古い時代の中国語その他さまざまです。それら歴史を語り記して来た様々な言語からはどのような歴史が見えてくるのでしょうか。3人の講師が自らの実体験やエピソードも交えつつ、3回の講座を通して言語を通して「おもしろ歴史夜話」へ皆さんを誘います。皆様の積極的なご参加をお待ちしています。＊1回のみの受講や回をまたがった受講も可能です。

## 第1回

### 日本にも生き残ったラテン語 ー日本におけるラテン語の受容史ー

ローマ帝国の公用語であったラテン語は、帝国滅亡後も教会用語、学術用語として命脈を保ち、ヨーロッパの主要な言語に様々な影響を及ぼすなど、ヨーロッパの文化の発展に果たした役割には大きなものがあります。そのラテン語はイエズス会の宣教師とともに日本にももたらされ、教会に身を置く日本人少年らによって学ばれました。戦国時代の日本に伝わったラテン語は、その後、どのような歴史の波に洗われて生き残り、現在の日本の大学で学ばれるようになったのでしょうか。戦国・鎖国下・幕末・明治の日本におけるラテン語の変遷史について、一緒に探访してまいりましょう。



講師：高橋裕史 先生  
(帝京大学総合博物館館長、  
経済学部経営学科教授)

## 第2回

### ロシア語と外来語 ー外来語が語るロシアの現代ー

ロシアがウクライナに侵攻して一年が経過した2023年2月28日、「ロシア連邦の国家語に関する」連邦法が改正され、戦時の愛国主義的傾向を背景に、ロシア語における外来語の使用を規制する方針が強化されました。まるで我が国が戦時中、野球の審判が「セーフ」の代わりに「よし」と言っていたことを思い起こさせるようです。かつて帝政ロシア時代は宮廷内でフランス語が公式に話され、ロシア語には外来語が数多く定着してきました。外来語の受容という側面から、ロシア史の今の位置を確かめてみましょう。



講師：杉浦史和 先生  
(帝京大学経済学部  
国際経済学科長)

## 第3回

### ミミズ文字？の解説 ー19世紀フランス語の 手紙から読み解く世界ー

美術史の観点から日仏文化交渉史を研究する中で、言語の壁にしばしば直面します。ミミズの這ったような欧文の筆記体や、日本のたおやかな仮名文字…。まだAIにも解説が難しいこれらの資料を読むことが研究者には求められます。そもそも、フランス語は日本でどのように学ばれてきたのでしょうか。明治期にお雇い外国人からフランス語を学んだ人物のノートや、19世紀末のフランスで活躍した芸術家の手紙を手がかりに、歴史を読み解くヒントをご紹介します。



講師：鵜飼敦子 先生  
(帝京大学外国語学部  
外国語学科 准教授)

FAXにてお申し込みの方は下記に必要な事項をご記入の上、本チラシをそのままFAX：042-690-8231までお送りください。

FAX用 「言語」から読みとく歴史世界 申込書

※参加希望のセミナーを☑チェックしてください。

☐ 第1回〔1月24日(土)〕

日本にも生き残ったラテン語

☐ 第2回〔2月14日(土)〕

ロシア語と外来語

☐ 第3回〔2月28日(土)〕

ミミズ文字？の解説

お名前 フリガナ( )

電話( )

ご住所 〒

## 交通アクセス

|        |              |          |           |          |
|--------|--------------|----------|-----------|----------|
| 新宿駅    | 京王線 約28分     | 聖蹟桜ヶ丘駅   | 京王バス 約17分 | 八王子キャンパス |
|        | 京王線 約31分     | 高幡不動駅    | 京王バス 約18分 |          |
| 調布駅    | 京王相模原線 約12分  | 多摩センター駅  | 京王バス 約13分 |          |
| 新百合ヶ丘駅 | 小田急多摩線 約12分  |          |           |          |
| 立川南駅   | 多摩モノレール 約19分 | 大塚・帝京大学駅 | 徒歩 約15分   |          |

※大学構内に来館者用駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。

※車イスでご来館予定の方は事前にご連絡ください。

